

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市榴岡児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 43,839人 (前年度比 115.7%) 平成29年度 37,878人 平成28年度 29,685人 平成27年度 28,193人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 指定管理者に支払った費用 51,363千円 (43,446千円) その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 使用料収入 0千円 (0千円) その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、地域連絡会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	来館者とのやり取りを大切にしながら、利用しやすい雰囲気づくりに努めている。児童クラブにおいては、館外ワークショップを実施し、自然の中での体験活動を通して児童の繋がりを深める取組みを展開している。サテライトの運営等においては、職員間で密に連絡を取り合いながら、安全に配慮した運営に努めている。また、学校や地域の諸団体との連携体制が構築されており、子育て支援の拠点として地域に根差した児童館運営に取り組んでいる。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<ul style="list-style-type: none"> ・榴岡地区のマンション林立等により子育て世帯は増加の一途を辿っており、毎日のように初めての来館者があり、特に乳児とその母が多かった。乳幼児と父・祖父の利用も多くなっている。 ・アンケート結果から「アットホームな児童館」との評価を今年度も頂いた。子育て相談等は乳幼児に限らず学童期や中高生期までである。一人ひとりにより添う児童館として、職員は補充力高く来館者を尊重し「チームつっじ」で対応した。 ・児童館まつり等に向けて子どもスタッフ会が組織されるが、毎回30名以上の小学生が参画し企画立案から運営まで担った。子どもの参画レベルは大人を動かすレベルにまで到達している。子どもスタッフの自己肯定感が高い。 ・大規模化する児童クラブ(本館・サテライト1&2)は保護者、榴岡小や地域の協力により円滑な運営が出来た。「そあとの庭」ワークショップを実施し、自然体験を通して子ども同士の繋がりを深めた。 ・中学生からのニーズで初の中学生合宿を実施した。中学生同士が日頃十分に出来ない交流を深めていた。忙しい現代だからこそ企画すべきものと実感した。中学校と保護者の理解があつて出来たことだと思う。 ・縁が輪ネットの構成は宮城野区保健師を含めて28団体。放課後等デイサービスも加わり、情報交換のほか発達障害の理解を深めた。インクルーシブな子ども&子育て支援に繋がりたい。 ・榴岡小との協働意識は高い。サテライト室の運営、児童の多面的理解等の共有だけでなく、双方向で考え話し合える「顔が見える関係」は揺るぎない。 ・榴岡小PTAと学校支援本部・児童館が共催で地域公開セミナーを2回実施。子育て中の母たちの学ぼうとする真剣な眼差しが印象的だった。 ・不審者対応訓練、AED講習、日々の見守り、行事への参加など榴岡地区町内会連合会をはじめ諸団体が児童館に協力して下さった。地域連絡会は本音で相談出来る場であり大変心強い。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て世帯が増加している地域特性を踏まえ、初めてでも利用しやすい雰囲気づくりや利用者対応に努めながら、児童の発達に応じたプログラムや親子交流の場を提供している。母親に対する支援だけでなく父親の交流の機会等も設け、子育て世帯の支援拠点としての機能充実に努めており、評価できる。</p> <p>小学校や町内会をはじめとする地域の諸団体等とは良好な連携体制を築いており、各団体と協働して様々な事業を実施するとともに、その拡大に取り組んでいる。また、幅広い団体から構成される「縁が輪ネット」の充実等により、多様なニーズや考え方の理解にも努めている。</p> <p>児童の健全育成に関しては、児童館まつり等において児童が積極的に参画できるような方法をとるなど、児童の自主性を重んじながら事業を実施している。また、児童クラブにおける館外ワークショップの充実や新たな中学生向け事業等について、保護者の理解・協力を得ながら取り組んでおり、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室